

2026年

8月



瀬戸蔵ミュージアム

Setoguro Museum

催物案内



瀬戸のやきものづくりの総合ミュージアム
やきもののまち瀬戸を体感できます
(入口は瀬戸蔵の2階です)

企画展示室 「新収蔵品展 2023-2025」

瀬戸蔵ミュージアム企画展

瀬戸蔵ミュージアムは開館以来、瀬戸および瀬戸焼に関する作品・資料の収集にも力を入れてまいりました。

こうした作品・資料は、名工による一品物から、やきものを生産するための窯業民具、近世から現代までの工芸品や工業製品、戦時中の代用品、輸出産業の花形であった瀬戸ノベルティ、またそれらに関わる文書類、さらにやきものの輸送を担った瀬戸電の関連資料など、多岐にわたります。

本展では2023年度から2025年度までに新たに収蔵した作品・資料を展示します。

9月27日(日)まで



「染付上絵香炉」
伝 加藤民吉(初代)
文化年間(1804~1818)

中央通りギャラリー 「愛知県陶磁器技能士会展」

瀬戸蔵ミュージアム企画展

陶磁器技能士認定を受けた会員7名による作品展。
トップレベルの技から生み出される多彩な作品をご覧ください。

10月4日(日)まで

旧尾張瀬戸駅構内 「せとでん 外濠線廃止から50年」

そとぼりせん

かつて名鉄瀬戸線の土居下駅から堀川駅(終点)の区間は、名古屋城のお堀の中を走るという「お堀電車」として親しまれていました。しかし堀川運河を介しての貨物輸送の需要が減少したことなどから1976年(昭和51)、お堀区間はその役目を終えます。外濠線廃止から50年の節目となる今年、在りし日の姿を振り返ります。

2027年4月15日(木)まで



ガントレットを通過するク2320形
1975年(昭和50)12月
撮影:山田 司



開館時間: 9:00 ~ 17:00 (入館は16:30まで)
入館料: 一般: 520円、65歳以上・高校生・大学生: 310円
中学生以下・妊婦・障害者手帳(ミライロID可)をお持ちの方: 無料
年間パスポート: 一般 1,570円、65歳以上・高人生 940円

8月24日(月)は休館日です

お問い合わせ 瀬戸蔵ミュージアム 電話 0561-97-1190